

リアック 8000

- ☐ 系統
- ☐ 特長
- ☐ 用途
- ☐ 塗料性状

アクリルウレタン樹脂上塗り塗料

塗装外観を重視した、8：1アクリルウレタン樹脂塗料。
ダストなじみ性に優れる為、仕上り外観・塗装作業性に優れます。
ウェットonウェットの仕様においても、鮮映性に優れた肉持ち感のある塗膜が得られます。
塗膜は耐薬品性、耐候性に優れています。
鉛・クロムなどの有害重金属系顔料を配合しておりません。

大型車輛・工作機械、建設機械等

色	ホワイト
粘 度 (K _u /25℃)	65±5
密 度 (23℃)	1.37±0.05
加 熱 残 分 (%)	67±3
引 火 点	23℃
発 火 点	272℃
危 険 物 表 示	第2石油類 (非水溶性) 合成樹脂エナメル塗料
有 機 溶 剤 区 分	第2種有機溶剤等
有 害 物 表 示	エチルベンゼン
医 薬 用 外 劇 物	該当なし

- ☐ 荷 姿
- ☐ 塗装基準

主剤各色 入目 16kg、4kg
硬化剤 2kg、0.5kg

混 合 : 使用前によくかき混ぜ、均一にしてください。

塗装方法	エアスプレー	エアレススプレー
希 釈 剤	リアック4005シンナー	リアック4005シンナー
希 釈 割 合 (w t %)	5～15	5～10
塗 装 粘 度 (20℃)	15～20秒	17～20秒
標 準 膜 厚 (μm)	40～50	40～50

可使時間、混合比率

10℃にて 5時間以内
23℃にて 3時間以内
30℃にて 1.5時間以内

主剤：硬化剤＝8：1

*膜厚は標準的数値です。被塗物の形状・素材の状態・希釈率及び測定機器・測定方法により幅を生じ、増減します。

- ☐ 注 意 事 項
1. 塗装ならびに塗料取扱い時は、十分換気を行ない火気厳禁です。

2. 塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上の場合は、塗膜の乾燥過程で種々の欠陥を生じることがありますので、塗装を避けて下さい。

3. 水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けて下さい。

4. 硬化剤は湿気により変質しますので、使用後は密栓して保管して下さい。

5. 硬化剤の皮膚付着には十分に注意して下さい。

6. 製品安全に関する詳細な内容が必要な場合には、安全データシート（SDS）をご参照下さい。

リアック8000 ホワイト

□ 成 分 表

リアック8000 ホワイト				リアック8000 硬化剤	
アクリル樹脂ワニス	46			イソシアネート溶液	100
ポリエステル樹脂ワニス	4				
着色顔料	39				
溶剤	7				
添加剤	4			合 計	100
		合 計	100		

□ 試験板作成条件

素 材	S P C鋼板
下 地 処 理	キシロール脱脂
下 塗	ユニバーサルNCプライマー グレー
上 塗	リアック8000 ホワイト
強 制 乾 燥	80℃×30分
乾 燥 条 件	23℃×7日間
膜 厚	40～50μm

□ 性 能 表

試 験 項 目	規 格	性 能
付 着 性	1mm幅 クロスカット法 100個基盤目による塗膜のはがれ抵抗性	100/100
引 っ か き 硬 度	鉛筆法による鉛筆硬度(キズ付き)	F
鏡 面 光 沢 度	鏡面光沢度測定による60度鏡面反射率(%)	90以上
耐 お も り 落 下 性	デュポン式衝撃変形試験器による塗膜衝撃抵抗性 (半径6.35mm×500g×30cm)	合 格
耐 水 性	水道水40℃に120時間浸漬後、塗膜に異常がないこと。	合 格
耐 湿 性	温度50±1℃、相対湿度98%以上の連続結露法回転式で120時間 湿潤しても塗膜に異常がないこと。	合 格
耐 中 性 塩 水 噴 霧 性	塩水噴霧試験装置による、塩水による塗膜の錆抵抗性 120時間	片側2mm以内
促 進 耐 候 性	サンシャインカーボンアーク灯にて塗膜の割れ、はがれ、膨れがなく、光沢 保持率は80%以上で色差(ΔE)3.0以内である塗膜の耐候性1000時間	合 格

※記載データ、数値等は、信頼されると考えられる内外の技術情報並びに最新の注意を払って行った試験に基づくものであり、保証値ではありません。
従って、実際の使用結果並びに特許上の権利を保障するものではありません。なお、ご使用に際しましては、事前に十分な検討を実施の上ご利用下さい
ますようお願い申し上げます。また、記載データ、数値等は製品の改良により、予告無しに変更または更新することがあり、これらの変更・更新・改良
により生じた如何なる損害に関しても、当社は責任を負わないこととします。